

伊 達 市 スマートフォン 基本用語集

【スマホ用語集】

スマートフォン(スマホ)を使う際に見聞きすることの多い言葉をまとめました。

※スマホを使う上での分かりやすさを大切にしたいため、正確な定義とは異なる場合があるのでご了承ください。(詳しく知りたい場合は、「インターネット」で調べてみましょう！)

【付録】

- ◆QRコードを使ってみよう！
- ◆オンラインでの申請や予約を練習しましょう！
- ◆デジタル変革(DX)って、何？
- ◆伊達市フリーWi-Fiスポットについて
- ◆「スクリーンショット」機能を使ってみよう！
- ◆「伊達市公式LINE」と友だちになろう！
- ◆「チャットボット」に聞いてみよう！
- ◆「伊達市電子図書館」の案内
- ◆「伊達市防災アプリ」をご利用ください



令和5年2月 【第1.0版】

スマホ用語集 索引・凡例

	No	用 語	ページ
あ	1	アイコン	1
	2	アカウント	1
	3	アクセス	2
	4	アップデート	2
	5	アップロード	2
	6	アドレス	3
	7	アプリ	3
	8	アンインストール	4
い	9	インストール	4
	10	インターネット	4
お	11	オンライン	4
き	12	ギガ	5
	13	キャリア	5
	14	許可	5
さ	15	サイト	5
す	16	スクリーンショット(画面メモ)	6
	17	ストレージ	6

	No	用 語	ページ
	18	スマートフォン(スマホ)	7
	19	スワイプ(スライド)	7
た	20	ダウンロード	7
	21	タップ	7
	22	ダブルタップ	8
	23	タブレット	8
ち	24	チャット	8
	25	チャットボット	9
つ	26	通信料	9
	27	通話料	10
と	28	ドラッグ	10
ひ	29	ピンチ	10
ふ	30	フォーム	10
	31	ブックマーク(お気に入り)	11
	32	ブラウザ	11
ほ	33	ホームページ	11
	34	ホームボタン	11

No	用 語	説 明	用 例 等
1	アイコン	スマホのホーム画面に表示されているもので、アプリを起動するときにタップ(指で触る)するマークです。 四角や丸のイラスト等で、アプリの内容をわかりやすく表しています。 【参照】 タップ:No21(7ページ) ロングタップ:No38(12ページ) アプリ:No7(3ページ) に説明があります	・「スマホで電卓の機能を使うには、このアイコンをタップしてアプリを起動しましょう。」 ・アイコンをロングタップすると、アイコンの削除や移動ができたり、アプリ独自の機能を使えたりします。
2	アカウント	メールやインターネット、SNSなどのWebサービス等を利用するときに必要となる「会員権」のようなもののことです。 様々なサービス等を初めて使用する場合、「アカウント作成(登録)」を求められますが、これは「会員登録」をするようなイメージです。 アカウントは、一般的にはユーザーIDと同じものとして扱われています。 【参照】 インターネット:No10(4ページ) ログイン:No37(12ページ) SNS:No48(17ページ) に説明があります	・サービスを利用する際に「アカウントにログインしてください」と言われることが多くありますが、普段の生活で考えると、「サービスを受けるために、お店で会員証を見せて(＝ユーザーIDを入力して)、暗証番号(パスワード)を入力する」ようなイメージです。

No	用 語	説 明	用 例 等
6	アドレス	文脈によって、「メールアドレス(あて先)」を指したり、「Webサイトのアドレス(住所)」を指すことがあります。 【参照】 URL:No50(17ページ) に説明があります	・Webサイトのアドレスについては、「URL」の項目をご覧ください。
7	アプリ 	「アプリケーション(Application)」の略で、SNSやゲーム、電卓、カレンダーなど、特定の機能のために作られたソフトのことです。インターネットを見るためのブラウザや、メールソフトも含まれます。 元々スマホに入っているものと、自分でダウンロードするものがあり、色々な機能やサービスを利用できるようになります。 Android端末では「Google Playストア」、iPhoneでは「App Store」から端末に保存(ダウンロード)し、インストールします。 【参照】 ブラウザ:No32(11ページ) ダウンロード:No20(7ページ) インストール:No9(4ページ) に説明があります	・「へ～。伊達市で【防災アプリ】ってのを作ってるんだ。防災情報も見られて便利そう！インストールしてみようっと。」 ・アプリを活用することで、スマホをより便利に、楽しく使うことができます。

オンラインでの申請や予約を練習しましょう！

■オンライン申請や予約って？

インターネットを使って、24時間・365日、いつでもどこでも、申請や予約ができる方法です！
伊達市では、イベントの予約や申請、各種手続き等に活用しています。

また、伊達市に限らず、他の官公庁はもちろん、民間企業でも一般的に用いられている方法です。

■オンライン申請や予約の方法は？

一般的には

- ①QRコードを読み取って、フォームにアクセス
※URLをタップするパターンもあります
- ②フォームで、設問に回答、日時等を入力
- ③「回答送信」をタップ
することで、簡単に手続きが完了します♪

実際に操作ができるフォームを用意しましたのでぜひ練習してみましょう！

1. スマホで、下のQRコードを読み取りましょう



※練習用のフォームなので、自由に操作し、回答を送信いただくことが可能です

2. 読み取り結果にアクセス。成功すると、この画面が表示されます。

伊達市 申請・予約練習用フォーム

入力フォーム

1 2 3

下記のフォームにご入力をお願いします。

伊達市 申請・予約練習用フォーム

こちらは、スマートフォンやパソコンを使用した申込や予約を練習するためのフォーム（入力画面）です。

全ての設問について、自由に操作、回答の送信が可能です。

練習用として、ぜひお試しください。

※下に表示される設問等は、全て架空のものとな

オンラインでの申請や予約を練習しましょう！

デジタル変革(DX)って、何？

■デジタル変革(DX)とは？

「Digital Transformation(デジタル トランスフォーメーション)」の略です。

トランスフォーメーションは「変革」を意味するので、DXは「デジタル技術を活用した地域・社会の変革」を表します。(英語圏では、「Trans」を「X」と表記するため。)

地域活性化や産業振興、教育や防災など、様々な分野で、皆さまの暮らしをより良いものへ変えることができます。

■2040年問題を見据えて

2040年には、生産年齢人口(15歳以上65歳未満)が20%も減少、団塊ジュニア世代が一気に65歳を迎え、20代前半の人数は団塊ジュニアの半数になる見込みです。

この「急激な人口減少と高齢化」を、2040年問題と呼びます。

現在より少ない労働力で、同等以上のサービスを皆様に提供するためには、次世代型の「スマート自治体」を目指す必要があります。



■伊達市はどんなことをやっているの？

○手続きのオンライン化

スマホやパソコンから申請や予約ができる手続きを増やします。

(例)健診やワクチン接種、所得申告相談会(確定申告)の予約等

○相談チャット(AIチャットボット)の導入

チャットボット(自動応答システム)を導入しました。皆さまのお問い合わせに、24時間、365日対応いたします。

伊達市ホームページや公式LINEで利用可能ですので、詳しくは、付録「AIチャットボットを使ってみよう」をご覧ください。

○おくやみコーナー、おくやみ手続きガイドの設置

ご家族が亡くなった時の手続きの不安や手間を解消するため、保原本庁舎に、1カ所で手続きが完了する「おくやみコーナー」を設置しました。

また、どんな手続きがあるのか洗い出すための「手続きガイド」も公開しています。

○スマホ教室等(基本講座、応用講座 等)

DXを進める上で、市民の皆さまと市役所を繋ぐ 大切なツールである「スマホ」。

不慣れな方を対象とした、無料の「スマホ教室」等を実施しています。随時「市政だより」で募集していますので、ぜひご参加ください！(不定期開催)